

Face to Face

第 7 回釜石医師会学術講演会（チームかまいし支援事業） 優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード

6月29日、ホテルサンルート釜石を会場に、第7回釜石医師会学術講演会が開催されました。この講演会は「優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード」と題し、国立病院機構釜石病院の土肥守院長を座長に迎えて開かれ、釜石市後援事業・チームかまいし支援事業として協力しました。

ユマニチュードとは、多くの国と地域で取り入れられている、認知症や様々な問題を抱えている人に有効とされているケアの技法で、今回の講演会では、ユマニチュードの創始者の一人であるイヴ・ジネストさんご本人を講師にお迎えしました。また、フランスでユマニチュードを学び、日本でのユマニチュードの普及に取り組んでいる国立病院機構東京医療センターの本田美和子総合内科医長が通訳と講演を行いました。

日本でもテレビ等で特集が組まれるなど注目が集まるユマニチュードについて、創始者から直接話を聞けるまたとない機会であることから、会場には定員を上回る 136 人が参加しました。ユマニチュードの技法で見違えるように穏やかになった認知症患者の実例が多数あげられると、参加者は食い入るように見つめ、ユマニチュードの技法について真剣に耳を傾けました。

ユマニチュードとは

- ▶ フランスで 36 年前に考案されたケアの技法で、認知症患者や高齢者を中心に広く用いられている。施設における向精神薬の使用や救急搬送の回数が減るなどの効果が報告されている。
- ▶ ユマニチュードは「見る」「話す」「触れる」「立つ」の 4 つを柱とし、150 を超える具体的な技術でケアが行われる。
- ▶ 優しさを伝える「技術」を学ぶことで、誰でも等しく適切にケアすることができるという考えに基づいている。



イヴ・ジネストさん



本田美和子医師



満員の会場

「釜石三師会学術講演会」開催

8月7日、ホテルサンルート釜石において、釜石三師会学術講演会が開催されました。この講演会は、釜石医師会、釜石歯科医師会、釜石薬剤師会からなる釜石三師会が開催しているもので、今年度はチームかまいし支援事業として開催協力しました。

今回の講演会は、医師でありながら薬局を経営し、一般社団法人日本在宅薬学会の理事長として活躍されている狭間研至氏を講師に迎えて、「在宅医師から見た地域包括ケアシステムの現状 多職種の専門性を活用した在宅医療の実践」をテーマに行われました。

会場に集まった薬剤師の皆さんにとっては、これからの薬剤師業務に関する認識を深めるきっかけとなり、他の職種の皆さんにとっては、薬剤師業務を深く知るとともに多職種連携における自らの業務の役割を捉えなおす機会となるように思われた講演会でした。

【講演概要】全国的にコンビニエンスストア数よりも薬局数のほうが多く、診療所医師よりも薬局薬剤師の人数が多い現状を鑑みて、超高齢社会の中で薬局に求められる役割は大きくなると見込まれる一方、薬を処方するだけ、薬を運ぶだけ、薬の説明をするだけの対物業務が行われていないか。6年制のカリキュラムで培われる専門性を発揮し、他の医療職と同様に「対人業務」としての薬剤師業務に取り組むこと、必要があれば脈拍や血圧を測るなど患者の身体に触れ、薬がちゃんと効いているか、副作用はないか、薬をちゃんと飲んでいるかを確認することも必要となってくる。在宅医療への参加は薬の効果を確認できる好機でもあり、地域包括ケアの中で専門性を発揮しながらチーム医療に取り組んでほしい。薬学的見地からの提案は医師の業務の助けにもなる。



講師の狭間研至先生



座長の寺田医師

在宅医療等担当者研修会に出席しました

8月6日、岩手県医師会館にて岩手県主催の在宅医療等担当者研修会が開催されました。会場には県内のほとんどの市町村から医療、健康、福祉、介護、高齢者、地域包括支援センターなどの担当者約80名が集まりました。

研修会は、①県の地域包括ケア推進担当者による制度や現状等の説明、②在宅医療・介護の事例発表、③グループワークからなるもので、グループワークではチームかまいし（釜石市健康推進課）の小田島係長が進行役を務め、市町村の枠を超えた本音の協議が行われました。すでに在宅医療・介護連携を進めている市町村とこれから取り組む市町村とがいましたが、学びと情報交換を通じて地域ごとの在宅医療・介護連携に関する課題の解決が図られました。

2次連携

日本在宅薬学会学術大会で共同研究 & 発表

7月19日から20日にかけて幕張メッセ国際会議場（千葉県）にて開催された、第8回日本在宅薬学会学術大会に、釜石医療圏の医科、薬科、行政の多職種が参加しました。この大会は一般社団法人日本在宅薬学会が開催するもので、薬剤師の在宅医療への参入や、薬局の機能拡張などに関して、現場で実際に何を行い、どのような機能を果たすべきか、薬剤師のみならず医師や看護師、介護士など医療・介護に従事する多職種が集い、学びと意見交換、情報共有が成されています。当日は、釜石薬剤師会とチームかまいしが共同でポスター発表を行ったほか、ハロー薬局の町田薬剤師が一般演題で発表を行いました。

また、9月16日には、今大会に参加した薬剤師6名と医師、行政職が集まり、大会の感想や反省点などを共有しました。その中で薬剤師の皆さんからは、これからの薬剤師はどのようにあるべきか業界全体で模索しており、対物から対人へ・物販業からサービス業への切り替えがなされつつあること、多職種との連携が構築されないと患者への正しい理解が進まず処方提案が難しくなること、このような学会に参加するなどして新しい視点を持つことが大事だと分かった等の意見が出されました。

今後も共同での研究や学会発表など、様々な形の連携手法を取り入れ、成果を発信していきます。



ポスター発表に参加した中田薬剤師(中央)

活動紹介

【静岡県主催】医療と介護に関する研修会

6月22日、静岡県がはーとぴあ清水（静岡市）を会場に開催した「医療と介護の総合確保に向けた市町職員等基礎研修」において、釜石市健康推進課の小田島係長がチームかまいしの活動を紹介しました。この研修会は、市町における地域包括ケアシステムの構築を進めるため、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、医療と介護の総合的な確保の必要性や在宅医療と介護の連携に関する自治体の先進的な取り組みを紹介するもので、静岡県内の医療・介護関係機関や市町職員ら約300人が参加しました。

研修会では、釜石市のほか静岡県、厚生労働省、横須賀市の各担当者が、制度や地域の現状に即した事業内容について講演しました。横須賀市と釜石市は、共に厚生労働省の平成24年度在宅医療連携拠点事業の採択を受けて医療と介護の連携に取り組んできましたが、両者の共通点は、実は「連携担当部署に保健師等の専門職がない」こと。事務職が問題の把握と整理、分析などを行いながら各々の方法で連携を進めており、自治体による多職種連携のひとつのあり方が示されました。

今後も様々な自治体と交流し学びあいながら、釜石医療圏の医療介護連携に役立てていきます。



7月24日、釜石地域で初の開催となる「ケアカフェかまいし」が市営青葉ビルで行われました。

ケアカフェとは、「ジャズの流れるカフェのような雰囲気の中、お菓子やコーヒーなどを楽しみながら、4～5人ずつのグループで共通のテーマについて話し合う。その後、グループを入れ替えて同テーマで話し合い、意見を深める。最後に出された意見を発表・共有し、いろいろな意見を持ち帰る。」といった内容のイベントで、北海道旭川市で始まり、今では全国的に開かれているものです。「ケアカフェかまいし」では、医療・介護関係者の顔の見える関係づくりとケアの相談場所の提供を目的としているとのこと。

4月に行われたプレオープンを経て開催されたこの会には、スタッフを含めて40人ほどの多職種が参加。参加職種は薬剤師、ケアマネジャー、社会福祉士、介護福祉士、福祉用具業者、看護師、栄養士、MSW、リハビリ職、行政など多岐に渡り、開かれた雰囲気が進みました。最初は見知らぬ人同士が隣になり緊張している様子もありましたが、リラックスした雰囲気アイスブレイキングの「他己紹介」をするうちに緊張が解け、テーマを「つながり」とした話し合いでは活発に意見が出されていました。

「ケアカフェかまいし」は、医療・介護従事者が自発的に起こした連携の活動であり、職場・職種の枠を超えてケアに関わる人が対等な関係を結べる素敵な場所でした。皆さんも第2回ケアカフェ釜石に参加してみたいかがでしょうか？



次回は**10月30日(金)**開催！ 詳細は釜石市ホームページ「かまちょこ」、フェイスブックページ「ケアカフェかまいし」をご覧ください。【問い合わせ】ケアカフェかまいし実行委員会 嶋岡さん(Tel 090-7335-2267)



お菓子をつまみながら



隣の人はどんな人？

ケアカフェに
お越しください♪



和気藹々と話し合いが進みます



スタッフはギャルソン風にお出迎え♪

編集後記

今号は釜石三師会学術講演会や日本在宅薬学会など薬科に関する記事が並びました。ケアカフェ然り、どの職種の皆さんも独自の勉強会など様々な活動がされており、こちらにも刺激を受ける日々です。催し物の周知はチームかまいしまでお声がけを(^o^)

発行／在宅医療連携拠点チームかまいし

〒026-0025 釜石市大渡町3丁目15番26号

TEL 0193-55-4536 FAX 0193-22-6375

✉ zaitaku@team-kamaishi.jp

ウェブサイト <http://teamkamaishi.ec-net.jp>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/teamkamaishi>